

恵庭市ルルマップ自然公園
ふれらんど基本構想（案）



恵庭市

令和5年7月

【目次】

はじめに	・・・・・・・・	1
1. ルルマップ自然公園ふれらんの現況と課題	・・・・・・・・	2
(1) 利用者層の市内外別などの現況について	・・・・・・・・	2
(2) 各事業運営の現況について (集客・収益性)	・・・・・・・・	3
(3) 広報・宣伝の現況について	・・・・・・・・	3
2. ルルマップ自然公園ふれらんの長所について	・・・・・・・・	4
第1回「ふれらんど施設のあり方検討会」発言要旨のまとめ (参考資料)	・・・・・・・・	5
3. 新しい取り組み	・・・・・・・・	6
(1) 今後の対応方針について	・・・・・・・・	6
(2) ソフト事業の対応策	・・・・・・・・	6
(3) ハード事業の対応策	・・・・・・・・	7
ルルマップ自然公園ふれらんど 課題と取組の具体策案	・・・・・・・・	8
(4) 事業化における官民の適切な役割分担と知名度向上の取組	・・・・・・・・	10
(5) ゾーニングと施設リニューアル案	・・・・・・・・	10
ルルマップ自然公園ふれらんどゾーニングイメージ	・・・・・・・・	11
事業着手スケジュール(案)	・・・・・・・・	12
(参考資料) 審議等日程	・・・・・・・・	13
「恵庭市ルルマップ自然公園ふれらんど施設あり方検討会」構成員名簿	・・・・	13

はじめに

ルルマップ自然公園ふれらんどは、平成 24 年度に開園してから 10 年が経過し、利用者層やニーズが大きく変化しています。

これまでの間、フォレストアドベンチャー・恵庭が開業したことに伴い、新たな利用者層を獲得しましたが、パークゴルフ場についてはプレー人口の高齢化などにより、利用者数が大きく減少している状況です。

今後とも将来にわたり効果的な施設運営とするため、「ルルマップ自然公園ふれらんど施設のあり方検討会」が設置され、現状と課題の把握・分析や、新たな対応や取組みについて検討を行ってまいりました。

本構想は、検討会から受けた提言をもとに、本公園の持続可能な施設運営を行うための基本構想を策定したものです。

ルルマップ自然公園ふれらんど施設のあり方検討会

第 1 回（令和 4 年 10 月 13 日）

- ・ふれらんどの現況と課題
- ・各事業者の利用客数・収支の確認
- ・石狩管内自治体パークゴルフ場の利用客数等の現状把握

- ・広報・宣伝の不足
- ・今後の賑わいをつくるための施設形態
- ・パークゴルフ場の施設転用（プレー人口の高齢化による利用者の著しい減少）
- ・公園内各施設の連携不足

第 2 回（令和 4 年 12 月 23 日）

- ・第 1 回検討会での意見を以下の 4 つにカテゴリー分け
「広報宣伝」・「利用者・ターゲット」・
「集客・収益性」・「新しい取り組み」
- ・【目標とする姿】
「集客・収益性が高い公園」と設定
- ・施設配置ゾーニング案を提示

- ・広報宣伝の強化
- ・フォレストアドベンチャーの拡大提案
- ・スポーツ合宿の受け入れ、飲食施設の整備、市民農園の野菜物販
- ・滞在型施設の付与
- ・PG 場のキャンプ場への転用

第 3 回（令和 5 年 2 月 10 日）

- ・広報宣伝の強化、冬期の利活用（ソフト事業）
- ・新たなソフト事業と施設整備（ハード事業）
- ・運営の主体
- ・リニューアルイメージ図の検討

第 4 回（令和 5 年 3 月 17 日）

- ・提言書のまとめ

1. ルルマップ自然公園ふれらんどの現況と課題

ルルマップ自然公園ふれらんどは、恵庭市と北広島市の境界付近の西島松北地区にあり、近くに道央自動車道と国道 36 号線が通る、札幌方面からの交通アクセスが良い場所に位置しています。

同地区については、平成 18 年に学識経験者、農業関係者、地元関係者で構成する協議会を設立し、西島松北地区の振興策について議論を重ね策定した「西島松北地区振興事業基本計画」に基づき、①地域農業の保全発展、②地域がもつ景観・観光など多面的な機能の発揮、③地域と周辺環境整備の 3 つの柱を中心として、墓地・火葬場のマイナスイメージから脱却し、地域性を活かした賑わいを興す都市農村交流拠点として整備され、平成 24 年度にオープンした都市公園です。

これまで指定管理者である西島松北交流公園管理組合によってパークゴルフ場、多目的広場、ソフトクリームがある修景広場、農園広場のほか、平成 30 年度にはフォレストアドベンチャー・恵庭が開業する等、事業活動を行ってきましたが、供用開始から 10 年が経過し、近年の利用者層はオープン当初から大きく変化してきており、施設運営において種々課題が生じています。

(1) 利用者層の市内外別などの現況について

各施設の利用者層の傾向

各施設	主たる利用者	市内外割合
パークゴルフ場	高齢者層 (60 歳以上が 9 割)	市外 7 割
市民農園	ファミリー層・高齢者層	市内 8 割
果樹収穫体験	ファミリー層・高齢者層	市内 8 割
ソフトクリーム工房 Lulu	ファミリー層・女性若年層	市内が比較的多い
フォレストアドベンチャー	ファミリー層・若年層	市外 9 割以上
多目的広場	少年サッカー関係	市内が比較的多い
散策路	ファミリー層・高齢者層	市内が比較的多い

※果樹収穫体験～ブルーベリー・ハスカップ

※冬期利用～現在休止、(主にインバウンド)

※ギャラリー三平～令和 3 年度末事業終了

◎利用者層の課題

- 施設ごとに利用者の市内外別割合及び年齢層がはっきりと分かれる傾向である
- この利用者層の偏りの是正が今後の課題

(2) 各事業運営の現況について (集客・収益性)

ルルマップ自然公園ふれらんどの開園から10年経過し、近年各事業に次のような課題が生じています。

◎各事業の近年の課題

- パークゴルフ場のプレイヤーは高齢者が多数。世代交代が進まず減少
- 冬期の利活用とインバウンドがない
- 市民農園は貸付残が毎年発生
- フォレストアドベンチャーの開業効果とパークゴルフ場減少
 - ・平成30年度にフォレストアドベンチャー開業によってLulu、農園利用者が増加(若年層・子どもが増)
 - ・パークゴルフ場利用者のフォレストアドベンチャーとLulu等への波及効果なし
- 各施設の利用客層が違うため、相互連携や相乗効果が得られにくい

(3) 広報・宣伝の現況について

広報・宣伝における連携が不足しており、利用者が目的とする施設に来て、初めて他施設の存在に気付くようなケースが生じており、一体的な広報と連携の不足により、相乗効果が生じず利用者増に結びつかない状況です。

◎広報・宣伝の課題

- 各施設の連携不足
- 恵庭市民への情報発信が不十分
- 公園入口に施設サイン、道路沿線にPR看板を設置していない

◎ニーズ把握の課題

～開園から10年が経過し、新たに開業したフォレストアドベンチャーに年間約1万人の利用がある等、近年利用者層やニーズが変化する中、新たなニーズの把握調査等が行われておらず、施設機能が開園当初から変わっていない



上記の課題がある一方で、施設の長所は以下のとおり

2. ルルマップ自然公園ふれらんの長所について

(1) ふれらんの長所

- ・道内有数の芝生管理
- ・築山の芝生で子どもが遊べる
- ・特産品農園（ブルーベリー・ハスカップ収穫体験）がある
- ・多目的広場において、少年サッカーの試合が毎週土日に開催（少年サッカーの聖地）
- ・恵庭墓園に近いことからお盆時期に賑わい、飲食の売上げが伸びる

◎ルルマップ自然公園には優れたところが多くあり、長所を活かし集客につなげたい



これらの課題と長所をふまえ「3. 新しい取り組み」へ

第1回「ふれらんど施設のあり方検討会」 発言要旨(まとめ) 参考資料

広報・宣伝

■広報宣伝の強化

- ・各施設の連携を図る工夫が必要
- ・恵庭市民への情報強化
- ・公園入口に施設サイン、道路沿線にPR看板の設置
- ・HP等のアンケートによるデータ取得と反映
- ・観光協会主体による市内観光施設の広報強化
- ・市内観光施設を「面」として発信、「売り」を考える
- ・「道と川の駅」等違う場所で情報収集できる仕組み

利用者・ターゲット

■FAの利用状況

※FA=フォレストアドベンチャー

- ・FA利用者は増加傾向、6割は札幌、恵庭市民が少ない
- ・FAの外国人来場者は年間約100人

■高齢者層から若手・ファミリー層へ

- ・PG場プレイヤーは高齢者が多数世代交代が進まず減少
- ・PG場をキャンプ場に転用すると一気に高齢者から若年層へ移行が可能
- ・キャンプ場利用者からFA、Luluへの相乗効果を期待

■今ある長所を活かす

- ・芝生の管理は道内有数で裸足で歩ける
- ・ソフトクリーム・ランチの提供有
- ・ベビーカーを押して散歩可 → 車イスを利用
- ・すばらしい散策路 できれば尚良し
- ・築山の芝生で子どもが遊べる
- ・特産品農園(ブルーベリー・ハスカップ体験)
- ・多目的広場で少年サッカーの試合(聖地)
- ・墓園に近く、お盆時期に飲食売上げが増

■冬期の利活用とインバウンド

- ・インバウンドがなくなり、スノーランドが中止。冬の利活用が課題

■貸付農園の貸付残で収入が低い

■FA開業効果とPG場利用者減少

- ・H30にFA開業によってLulu、農園利用者が増加(若年層・子どもが増)
- ・市内と近隣自治体のPG場閉鎖増加
- ・PG場利用者のFA、Lulu等への相乗効果なし

■各施設との連携プロモーション

- ・FA、農園、Lulu等を相互利用するプロモーション及びチケット販売等
- ・収穫体験など効果的PR、情報発信の仕掛け

■滞在時間延長へ

- ・FA恵庭の滞在時間は2h
- ・宿泊施設があれば滞在時間が長くなり隣接するFAの売上が伸びる(Lulu等他の施設も同様に売上げ増の期待)

■キャンプ場への転用

- ・長期滞在型にできる
- ・相互連携のイメージがしやすい
- ・墓園隣接のイメージ払拭
- ・ゴミ飛来等周辺対策が必要

■軟石倉庫の利活用

(ギャラリー三平が終了)

集客・収益性

新しい取り組み

3. 新しい取り組み

現状の課題に対応し、利用者ニーズの変化とそれらに対応した新たな機能・施設の導入により、「集客・収益性が高い公園」を目指します。

ただし、「自然公園」であることから、人工的かつ華美、過大な運動施設ではなく地域の自然景観、緑を活かすことを中心とした機能、施設を想定します。

(1) 今後の対応方針について

① 広報・宣伝の強化により新たな集客・誘客を図る。
② 各施設の若年層・ファミリー層の利用拡大により公園全体の利用者の増加につなげる。
③ 滞在型施設の付与により公園施設全体の相互連携・相乗効果を図る。
④ ソフト・ハード事業の実施主体は民間事業者を原則とする。ただし、一部行政による施設整備、また指定管理者や管理委託業務も想定する。

(2) ソフト事業の対応策

① 広報宣伝の強化・利用者ニーズの収集など

対 応 策	備考
SNS 等の施設間連携（施設全体のHPの作成・更新、HP間のリンク向上）	
インバウンド回復後の SNS を駆使した集客促進	
恵庭市民への情報強化	
HP 等のアンケートによるデータ取得と反映（利用者ニーズの収集）	
市内観光施設の広報強化及び全体的な誘客	観光協会
市内観光施設の「面」としての発信、「売り」を考える	〃
「道と川の駅」等違う場所で情報収集できる仕組みづくり	〃
道路沿線にPR看板の設置	
観光・旅行事業者からの定期的なヒアリング・提案等（事業運営の検証）	

② 若年層・ファミリー層の利用拡大、滞在型施設の付与

新規事業など	実施主体	事業内容など
各施設との連携プロモーション	民間	フォレストアドベンチャー、農園、Lulu、パークゴルフ場等の連携プロモーション及び共有チケット販売、収穫体験等の効果的なPR、情報発信の仕掛けづくり、一般市民向け、新たな顧客拡大のイベント実施
周辺施設とのタイアップ	民間	地元食材を活用し提供するレストラン及び近隣自治体のホテルと連携による誘客、農園を含む宿泊プラン

簡易宿泊機能施設の 検討及びスポーツ合宿 誘致 ※滞在時間の延長へ	民間又は市	多目的芝生広場・パークゴルフ場の活用事業として、 大学生・高校生等道外からのサッカー合宿誘致（毎年 の定期化）。 ※旧食堂棟を合宿用宿泊施設や屋根付き食堂として の転用を検討
--	-------	---

③入場料の見直し

～入場料を適正に見直した上で、市民割引・海外旅行者及びリピーターへの特典等
ターゲットごとに対応

(3) ハード事業の対応策

① 土地利用の変更

土地・建物の利用(変更)	実施主体	事業内容
キャンプ場への転用	民間又は市	P G場の縮小 キャンプ場への転用 民間キャンプ場の誘致整備、 <u>長期滞在型</u>
軟石倉庫利活用	民間	飲食施設としての活用が望ましい
貸付農園の残区画の 活用	民間	貸付農園において毎年残る区画を野菜畑へ転換し、 収穫した野菜をキャンプ場において、キャンパー用 として物販（公園内での野菜消費）

②客層の拡大

設備の新設	実施主体	整備内容
施設サインの設置	市又は民間	公園入口に施設サインを新設
子どもの遊び場の整備	民間又は市	100m滑り台、トンネル築山、スノーボード・ス ケートボード利用可など（特徴のある効果的な大型 遊具を、厳選し設置） ※不足機能の補填

③ 新規及び拡大事業の導入の検討

事業名	実施主体	事業内容
フォレストアドベンチャーの拡大	民間	「トレイルアドベンチャー」 ※樹林帯と散策路のコース整備
墓園境界の植樹 (目隠し)	市	恵庭第四墓園境界沿いへの大規模な植樹を行い 景観向上
キャンプ場転用後、 新たな設備機能の付加	民間又は市	トイレ・炊事場等設置 (キャンプ場の中央付近等に 設置。シャワー室等の整備・駐車場ゲート等設置)
飲食用施設の充実	民間又は市	飲食用施設を充実させ、団体客の飲食受け入れを 可能とする
宿泊施設の誘致	民間	公園内に研修施設等を誘致する

■ルルマップ自然公園ふれらんど 課題と取組の具体策案

課題

広報・宣伝が不足！

利用者・ターゲットが
定まらない

集客・収益性が低い



【目標とする姿】

集客・収益性が高い公園へ！



【目標達成に向けた3つの方針】

- 広報・宣伝の強化
- 利用者層の一定化
若年層・ファミリー層の利用拡大
- 滞在型施設の付与

具体策(案)として…

(広報・宣伝の強化)

- ・ 恵庭市民への情報強化 (アンケート)、SNS
- ・ 観光協会主体による観光施設一連の広報強化と誘客ツアーの実施
- ※ 市内観光施設を「面」として発信し「売り」を考える！

(利用者層の一定化)

- ・ 新たな子供向け遊びゾーンの整備
- ・ フォレストアドベンチャーの拡大
- ・ PG 場からキャンプ場への転用
- ・ 冬期の利活用～インバウンド集客
- ・ 公園施設全体の連携による相乗効果の発揮

(滞在型施設の付与)

- ・ キャンプ場の導入、高木植栽
- ※ 簡易宿泊施設の検討
- ※ スポーツ合宿誘致・学校・企業
- ※ 炊事場・シャワー室・トイレ増設等が必要
- ・ 飲食機能の充実
- ・ 新イベントの実施 (施設間連携プロモーション)

(4) 事業化における官民の適切な役割分担と知名度向上の取組

～整備と運営、ハードとソフトの役割分担の明確化、インパクト効果

事業推進において、避けられない問題が施設整備とその財源などの問題です。

施設管理については、西島松北交流公園管理組合が引き続き当公園の管理・運営に関わりこれまで培ったノウハウを生かすことが、今後の適切な維持・管理に資すると考えられます。

整備については、PFI や指定管理者制度、業務委託、賃貸借などの方法で独立採算制度を原則として、専門性と民間らしい発想、経験、実績でサービス向上と収益事業の展開が適当と考え、新たな民間事業者の誘導を積極的に進めます。

また、ルルマップ自然公園ふれらんどという公園名称を全面に出した広報は、「適切な対象へ適切な手法による確実な伝達」が重要です。

さらに、当公園内の各施設が連携するイベント等の開催、テレビ番組による当施設のPR、大手アウトドアメーカー・プロスポーツチーム・施行业者との関連性・関係性を持つようにしてインパクトを生み出し、知名度を向上させることが必要と考えます。

このように、事業化においては、行政、民間が適切に役割を分担することが重要です。

(5) ゾーニングと施設リニューアル案

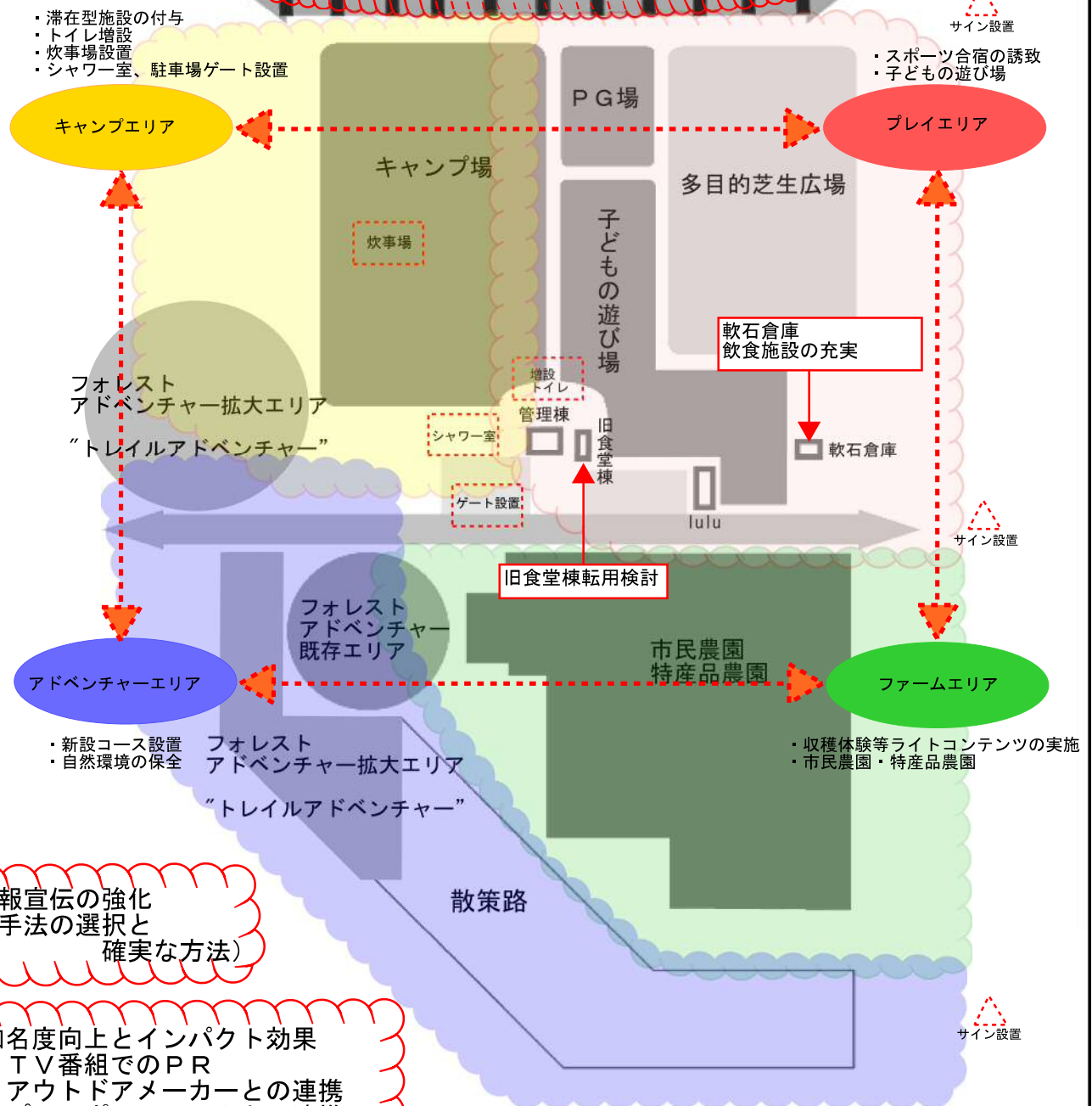
公園の既存のエリアを「プレイエリア」、「キャンプエリア」、「ファームエリア」、「アドベンチャーエリア」の4つに分け、各施設が連携しSNS等による広報宣伝の強化を図り、新たな集客・誘客を図ることが重要です。

また、滞在時間の延長と相互連携の強化を推進するため、各施設の連携プロモーション、周辺施設とのタイアップ、新イベント（ライトコンテンツ）等の実施することが必要です。

さらにターゲットである若年層・ファミリー層の集客のため、キャンプ場への転用、子ども遊び場の新設、トレイルアドベンチャーのオープン等の施設リニューアルを行い、魅力がある施設の連続によって周遊性の向上へつなげ「集客・収益性が高い公園」を目指します。

ルルマップ自然公園ふれらんど ゾーニングイメージ

墓園隣接イメージの払拭



広報宣伝の強化
(手法の選択と
確実な方法)

知名度向上とインパクト効果
・TV番組でのPR
・アウトドアメーカーとの連携
・プロスポーツチームとの連携

滞在時間の延長+相互連携の強化 ⇒

- ・各施設の連携プロモーション
- ・周辺施設とのタイアップ
- ・新イベント（ライトコンテンツ）の実施
- ・若年層・ファミリー層の利用拡大

魅力の連続により周遊性が向上



集客・収益性が高い公園へ

◆ 事業着手スケジュール（案）

■主な事業のスケジュール(案)		R5	R6	R7	R8
《具体策》					
①広報・宣伝の開始	施設サインの設置	⇄	⇄		
	パンフの作成・配布	⇄			
	観光情報誌へのPR広告	⇄			
	市民への情報提供	⇄			
②土地利用の変更	キャンプ場への転用	⇄	⇄		
	軟石倉庫利活用	⇄			
	貸付農園の残区画の活用	⇄			
③客層の拡大	子供向け遊びゾーンの整備	⇄	⇄		
④新規及び拡大事業の導入の検討	フォレストアドベンチャーの拡大	⇄	⇄		
	墓園境界の植樹（目隠し）	⇄	⇄		
	飲食用施設の充実	⇄	⇄		
	宿泊施設の誘致	⇄			

⇄ 要望・調整

⇄ 事業着手

(参考資料) 審議等日程

日 程	項 目	協議内容
令和4年10月13日	第1回ルルマップ自然公園ふれらんど施設のあり方検討会	1. 構成員紹介 2. 検討会開催の趣旨等説明 3. 現状と課題 4. 今後のスケジュール
令和4年12月23日	第2回ルルマップ自然公園ふれらんどの施設のあり方検討会	1. 検討会代表者の選出 2. 課題と取組の具体策(案) 3. 今後のスケジュール
令和5年2月10日	第3回ルルマップ自然公園ふれらんどの施設のあり方検討会	1. ルルマップ自然公園ふれらんど施設のあり方検討会の素案について
令和5年3月17日	第4回ルルマップ自然公園ふれらんどの施設のあり方検討会	1. 提言書(案)の決定

「恵庭市ルルマップ自然公園ふれらんどの施設のあり方検討会」構成員名簿

所 属	役 職	氏 名
(有)メイプル企画(パークゴルフ場・多目的広場管理、西島松北交流公園管理組合代表理事)	代表取締役	大藤 義賀
(公社)恵庭市シルバー人材センター(農園・散策路管理)	課長	藤川 将典
ノースウエストクラブ(アートビレッジ管理・ソフトクリーム工房Lulu)	副会長	中川 尚人
フォレストアドベンチャー・恵庭	取締役	松藤 智史
西島松町内会	西島松中央組合長	土谷 秀樹
(公社)北海道観光振興機構 地域支援本部 地域観光部	担当部長	五十嵐 雅之
(株)北海道宝島旅行社	執行役員 観光地域づくり事業部 部長	菊地 敏孝

敬称略

恵庭市経済部花と緑・観光課

〒061-1498 北海道恵庭市京町1番地

TEL : 0123-33-3131

MAIL : hanatomidori@city.eniwa.hokkaido.jp